

久々の新聞原稿に、緊張しながら9月に行われた南会津組会について、三瓶が報告させていただきます。今回の集合場所は、野岩鉄道の男鹿高原駅。昨年の七ヶ岳登山口駅よりも何駅か日光よりの無人駅。自宅を、700時出発、圏央道→東北道と乗り継いで西那須からホテルニュー塩原の横を通り抜け男鹿高原駅を目指す。途中、都賀西方PA付近から、霧のようなものが体を纏わりだした。雨では無い、雨では無いと念仏のように呟きながらカッパを着る。前回の下仁田も雨。「雨男は俺だったか」と、自責の念を感じながらR400ひた走る。R352とR121との3重複国道になって、男鹿高原駅に1230時現着。



の軽トラと、トランプ率の向上と阿部さんの奥様との対面に、到着早々ビックリポンである。また、今回も紅一点！群馬のクノイチ？半蔵さんが組会にCRF250にて参加してくれました。下仁田の組会は、天候等もありほぼ宴会になってしまったが、前回に引き続き参加してくれました。

ここで、今回の参加者は、組長(S P370)、DRゴ三浦さん、WR地下鉄さん、XR三倉さん、ジエベル尾形さん、TS90ロッカーさん、CRF半蔵さん、TRレイド三瓶の8名が集結し、早秋の南会津を駆け抜けます。まず阿部さんは、用事があつたらしく？皆の集合を待たずして奥様とドライブへGO。私達がお二人をお見送りすることに。その後、半蔵さんが到着し出発する。気が付くと雨は止んでいて、山間部の方が晴れており上々の天気！まずは七ヶ岳林道？へ突入。久々の砂利道で気合爆発、組長の真後ろのポジションへ滑り込む。始めは、意気揚々と組長にしがみ付き、ブン回しているものの、だんだんと林道に蔭かれた碎石地獄で、フロントタイヤが遊びだす。何とか堪えてみたものの、轍バカよねと谷間の誘惑に負けてしまい、スッテンコロリ。動画を返してみたところ、大きな声を上げておりました。三倉さん達に介助していただき、再スタート。先頭の組長は、しばらく行った広場にてアイドリング調整をしておりました。しかし、後続の半蔵さんゴ三浦さんロッカーさんが来ません。



で会釈をしながら風のように去っていきました。チャンチャン。遅れた原因は、半蔵さんが私と同じように転倒してしまつたようです。すると休憩場所では、半蔵さんの折れたレバーの補修メカニック(組長が石で面取り)折れかけた心のケア、空気の圧のチェック、ケガはないか？メデイカルチェック、林道走行レクチャー等々。各々が自然に行動を起こし、どこかのレース場にいるのか？と思わせるような、七ヶ岳の山中にてチーム寺崎が結成されていきました。私も転んだんだよねと心で呟きながらも私も転んだ同士フルサポート。それからチームは、林道を進み里に出て黄金の稲穂と白い蕎麦の花が、頑丈そうな電氣柵に囲まれたそんなのどかな景色を横目に、田島のヨークベニマルに到着。そそくさと、買出しを済ませ、再度フルサポで山へ突入。組長は、野宿地の匂いがする方へどんどん進む。すると、来た道をユーターンし、匂いがしたのか？

突然脇の藪の中へと突っ込んだ。路面はアスファルトから砂利となり、両サイドからは葉っぱと枝が容赦なく体を叩きつけ、意外と長い。若干の轍もちらほら、草で前も下も見えない。いつまで続くこの状態、ほんとは野宿地があるのか？と組長以外全員が思っていたに違いないその瞬間、ドカッと開けた空き地に辿り着く。そこは、鉄塔の下で草刈りを終え、芝生が広がる、全員がテントを張つても輪が作れる丁度良い広さでした。恐るべし組長。まいりました。



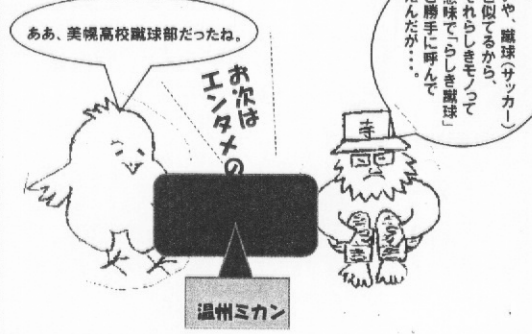
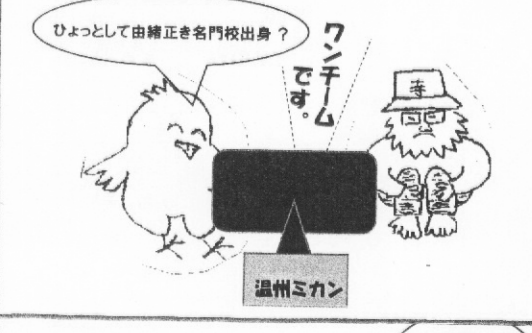
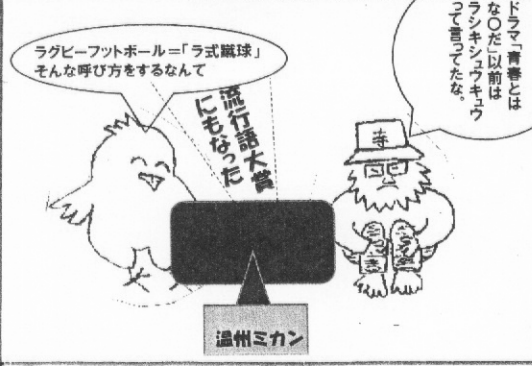
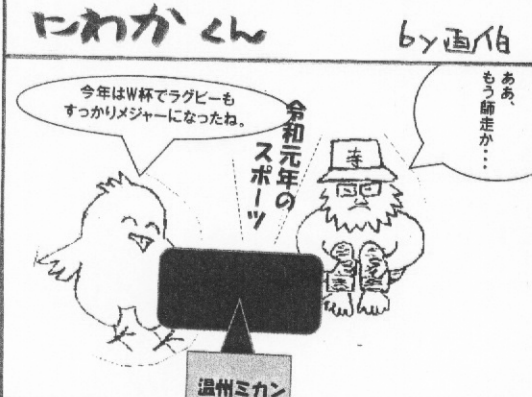
見たかもしれない、と思いがながら夜は更けていった。尾形地蔵は言うまでもない。

翌朝、朝食を終え出発する前だつたと思う。組長が半蔵さんに、「行く？大丈夫かい？」と2日目も同行するか確認をしていた。半蔵さん、思つての確認であつた。がしかし、当の半蔵さんはと言うと、「ここで別れても道わからないし、次の日も休みだし、行きますけど何か？」と、あっさり回答！素晴らしい！そうと決まったらさあ出発だ！がしかし、ここでゴ三浦さんが仕事のため戦線離脱。月曜より中国出張とのことである。一行は「三浦さんと別れ、2日目も南会津を周遊する。R352・R401・R289等を走り、駒止湿原、鳥居峠、道の駅番屋、台鞍スキー場など看板は記憶にのこっているものの、三倉さんのように地図にメモを残さなためどこをどう走つたか？家に帰つてから、地図を見返しても後の祭りである。山中を進むと、半蔵さんのペースが上がつていくことに気づく。もちろん無転倒。分岐点で待つ時間が、明らかに短い。すなわち、先頭集団の休憩時間も短くなったが、半蔵さんが追いつくと皆、上達の速さに驚き笑顔になつていった。そして、今回はやたらとオフロードバイク集団と山中で遭遇することが多かった。林道でパンク修理するもの。寺崎さんですか？と声をかけてきたもの。必死の形相でゆっくり下り、男性仲間に煽られる女性ライダーなどなど、20人以上と珍しく遭遇した。にわかにおつろいどバイクブームが再燃しているのかもしれない。

当然に劇進化した半蔵さんについてであった。本人曰く、皆さんからアドバイスをもらい、一日林道走行をした結果、一つの理論に辿り着いたと言う。それは、寺崎学会いや宴会にて、遂に発表された。「ケンタウルス理論」である。下半身はバイク、上半身は人間のように、ケンタウルスのバイク版になれば？転ばずして林道を進むことが出来る！即ち、二ーグリップなど下半身で、バイクと一体化することが重要である！という提唱に皆感心し、組員のフルサポート体制が実を結んだ？そして、人間は成長する生き物であることを再認識した学会でありました。次第に気温は下がり、人工衛星が夜空を横切り、月明りで用が足せたなどなど、いつものように話題に事欠かず、ゆつくりと南会津の夜は更けていくのであります。私も日々精進しよう！組会走行距離230kmでした。

南会津組会一言

●久々にこけちゃいました！けど、楽しかったです！(サンペイ)
●ロッカーさんご就職おめでとうございませう。地下鉄さんも車で運ぶようになって。ゴ三浦さん一泊だけなんです。三瓶さん次回リクエストします。アベさん大内宿はいかがだったでしょうか。オガタさん山梨県から自走ご苦労様でした。半蔵さんの上達ぶり感服致しました。今年も89ページグルグルは面白かった。(三倉)
●折れて組長に削つて貰ったクラッチレバーはうちの家宝です。(まだ交換してないけど...) (半蔵)
●バイクも、ブーツも壊れて修理しました！◎◎散財しました！(オガタ)



半蔵さんはと言うと、N.O.転倒で藪漕ぎをクリアし野宿地に到着していた。このあたりから、半蔵さんの激進の片鱗が見えていたのかもしれない。宴会はいつものように盛り上がったが、私は初めて、組長地蔵を

なんだからだ、買出しの時間。田島のリオンドールにピットイン。そそくさと買出しを済ませ、県道369号付近の水無川の畔を今宵の野宿地とする。宴会が始まり、話題は

●半蔵さんの上達ぶりとはスラー壊れなくて良かった！(ロッカー)
●今集合地まで車で移動。車は楽です。(地下鉄)
●酔っ払い地蔵を介護してくれる人が、就職するのでしばらく組会に来られないらしい。これから地蔵様たちがちよつと心配。(ゴ三浦)